

各 位

2025 年 6 月 17 日
碧 海 信 用 金 庫

2025 年 3 月期（令和 6 年度）決算発表

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、2025 年 3 月期（令和 6 年度）の決算について、以下のとおり業績の要約を公表いたします。

記

1. 主要業績数値

（単位：百万円）

		2025年3月期 （当期）	2024年3月期 （前期）	増 減
預貸金状況	預金積金残高	2,319,026	2,297,396	+21,629 （+0.94%）
	貸出金残高	1,218,100	1,196,170	+21,929 （+1.83%）
損益状況	業務純益	4,428	4,476	△48 （△1.07%）
	実質業務純益	4,428	4,281	+147 （+3.43%）
	コア業務純益	4,309	5,009	△699 （△13.97%）
	コア業務純益 （投資信託解約損益を除く）	4,882	5,935	△1,053 （△17.75%）
	経常利益	5,299	5,182	+117 （+2.26%）
	当期純利益	3,988	3,735	+253 （+6.77%）
健全性	純資産額	156,589	169,091	△12,502 （△7.39%）
	自己資本比率(単体)	15.50%	15.35%	+0.15ポイント
	不良債権比率	2.95%	2.93%	+0.02ポイント

※ 単位未満切捨て表示。

※ 不良債権比率は金融再生法ベース。小数点第 3 位を四捨五入して表示。

- ・ 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。
- ・ 実質業務純益とは、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
- ・ コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因（一般貸倒引当金繰入額および国債等債券関係損益）を除いたものです。

2. 業績コメント

〔預貸金状況〕

- 預金積金残高は、個人および法人のお客さまからの定期預金などを中心に増加し、前期比 21,629 百万円増加の 2,319,026 百万円となりました。
- 貸出金残高は、個人向け、事業者向け貸出ともに増加し、前期比 21,929 百万円増加の 1,218,100 百万円となりました。

〔損益状況〕

- 貸出金利息が増加した一方で、預金利息や人件費などの経費が増加したことにより、業務純益は前期比 48 百万円減少の 4,428 百万円、コア業務純益（投資信託解約損益除く）は前期比 1,053 百万円減少の 4,882 百万円となりました。
- 不良債権関係費用の減少などにより、経常利益は前期比 117 百万円増加の 5,299 百万円、当期純利益は前期比 253 百万円増加の 3,988 百万円となりました。

〔健全性〕

- 自己資本比率（単体）は、前期比 0.15 ポイント上昇の 15.50%となりました。信用金庫に求められる国内基準（4%）を大きく上回っております。
- 不良債権比率（金融再生法ベース）は、前期比 0.02 ポイント上昇の 2.95%となりました。

以 上